

大 守 秀 行

市議会だより

2020年7月吉日 No.23

発行責任者：大守秀行
〒710-8550 倉敷市玉島乙島7471番地
TEL: (086) 525-2226
自宅：倉敷市中島1835-20

いよいよ夏本番を迎え、より一層ご隆盛のこととお喜び申し上げます。6月議会においても一般質問に登壇し新型コロナウイルス感染症対策や身よりのない方の支援について20問以上の質問を致しました。以下に質問内容と答弁を抜粋し記載するとともに、一般会計のトピックスも盛り込んでいますのでご確認いただけますと幸いです。

Question 1 新型コロナウイルス感染症対策について

背景：各部局において、新型コロナウイルス感染症に対する対策が施されているが、第二波、第三波に備えた体制づくりや避難所への展開が不可欠である。

Q 1：第二波、三波に備え情報の共有化と検査・医療体制の充実を図るべく岡山県や医師会との連携は。

A 1：吉岡保健福祉局参与：

①本市では、令和2年1月下旬から倉敷市連合医師会及び、市内36病院と「新型コロナウイルス感染症対策連絡会」を2週間に1回開催。②会議には、感染症指定医療機関への入院調整や県内検査機関の体制整備等を行う「新型コロナウイルス感染症岡山県調整本部」からも参加頂き、日々変化する情報を提供。③検査体制の拡充や医療現場における課題などについて共有を図っている。④岡山県が開催する「関係機関Web(ウェブ)会議」に岡山市とともに参加し連携強化を図っている。⑤第2波・第3波に備え、引き続き岡山県や倉敷市連合医師会と連携し、新型コロナウイルス感染症の検査体制の整備や医療体制の充実に努める。

Q 2：救急搬送での新型コロナウイルス感染症が疑われる搬送実績と隊員や救急車の対策は。

A 2：吉岡保健福祉局参与：

①感染症が疑われる患者を7名搬送。②救急隊員の対策は、ゴーグル、高性能マスク(N95)、プラスチック手袋、全身型感染防護衣を着用。③救急車は、患者搬送後その都度車内をアルコールで消毒。④新型コロナウイルス感染症が疑われる患者を搬送する際には、保健師1名が救急車に同乗し搬送する病院の選定や消毒についての助言を受けている。

Q 3：避難所での3密対策は。

A 3：山路総務局参与：

①大雨を想定した場合の避難方法として「小中学校などの指定緊急避難場所への避難」に加え「自主防災組織が運営する届出避難所への避難」「親戚や知人の家への避難」「自宅の2階以上への垂直避難」や「車での避難」など、様々な避難方法をお示し避難者の分散を図りたい。②倉敷市洪水・土砂災害ハザードマップ等を参考に、ご自宅やご家族の状況に合わせて、避難方法を検討いただく必要がある。③ホテルや旅館を避難所として利用する協定を締結している。

Q 4：避難所ではゾーニングを取り入れた対策が必要であるが、本市の対応は。

A 4：山路総務局参与：

①避難生活が長期化する場合にはできるだけ早い段階で、段ボールベッドや間仕切りカーテンなどを導入するなど、感染症対策を図り感染リスクに配慮した避難所の運営を行う。

②避難所における感染症対策の備蓄は、段ボールベッド及び仕切板、間仕切り用透明ビニールシート、非接触式体温計、不織布マスク、手指消毒液、手洗い石鹸などの確保を進めている。③避難所では閉鎖されるまで、体調の聞き取りや検温などを実施し、体調の悪い方の早期発見に努める。

Q 5：避難所での「新しい生活様式」を考慮した取り組みは。

A 5：山路総務局参与：

①新型コロナウイルス感染症への対応が求められる中において、避難所を運営する場合には、マスク着用・手洗・手指消毒の徹底・ソーシャルディスタンスの励行など、基本的な感染症対策が最も重要であり、新しい生活様式を取り入れるとともに、体調管理や換気についても厳重に行う。②平成30年7月豪雨の経験を踏まえ、トイレ清掃・手洗い・手指消毒の徹底など、感染症対策として必要な事項について、倉敷市避難所運営マニュアルへの追記を行う。

Q 6：避難所では、平成30年7月豪雨災害を踏まえた「心のケア」の充実が必要であるが、本市の対応は。

A 6：山路総務局参与：

①避難所での避難生活は、被災のショック・慣れない環境で集団生活・さらには新型コロナウイルス感染症対策と、様々な悪条件が揃っており、避難者の方々には肉体的にも精神的にも大きな負担がかかることが想像される。②平成30年7月豪雨災害においては、本市の保健師による健康相談に加え、全国の自治体から保健師や看護師の応援を受けるとともに、災害医療派遣チーム(DMAT)や民間医療機関や福祉施設等からも様々な支援を頂き、避難者の健康維持に携わって頂いた。③今後も万が一の際には、こうした支援も頂き、より充実した避難者へのケアができるように対策を進める。

Question 2 身寄りのない高齢者の方への支援や亡くなられた場合の対応について

背景：高齢化が進む中、お一人でお住いの高齢者や生涯独身の方の増加、相続放棄など様々な社会情勢の変化により身寄りのない方が増えており、医療現場では遺品や遺留金の引き取り手がない課題がある。

Q 1：身よりのない方の遺留金は、国のガイドラインに沿って本市で引き取る体制を要望する。

A 1：三宅環境リサイクル局長：

①一般的に身寄りのない方が医療機関で亡くなった場合は、墓地及び埋葬に関する法律に基づき、市で火葬は行いますが遺留金の引取りはできない。②遺留金の処分については、民法の規定に基づき相続財産管理人による処分手続きを行い、残余遺留金については最終的に国庫に帰属することになるが、少額の遺留金で相続財産管理人が立てられない場合は、処分ができない。

Q 2：本市で遺留金の取り扱い条例の制定と国へ遺留金の法的整備を要望する。

A 2：三宅環境リサイクル局長：

①高齢化の進展や家族のつながりの希薄化などにより、火葬や遺留金について件数や額が増加している。②結果として法律に根拠のない遺留金の保管や望ましくない事務処理が発生する恐れが懸念される。③遺留金の取扱いに関する根拠法を国の責任において、中核市市長会などを通じて要望する。④国のガイドラインの取扱いや遺留金に関する条例化などは、先進事例などについて研究を進める。

予算規模

補正予算概要

- ①新型コロナウイルス感染症対策に要する経費や4月に市長選挙が行われたことから、当初予算で計上を見送っていた新規事業費や建設事業費などを計上。
- ②歳出では、新型コロナウイルス感染症対策として、生活自立相談支援センターの支援員を増員する経費や感染症の拡大防止及び地域経済の復興を図る目的で設置する基金への積立金などを計上。
- ③「真備地区の復興推進と災害に強いまちづくり」として、復興防災公園(仮称)整備事業費、被災者向け民間賃貸住宅家賃助成事業費、柳井原地区に水防センターを整備する経費、中学校26校へ防災用保管庫等を整備する経費などを計上。

(単位：千円)

区分	補正前の額	補正額	計	前年度同期比(%)
一般会計	239,947,240	8,491,545	248,438,785	122.2
特別会計	97,615,732	6,363	97,622,095	99.9
財産区会計	43,697	—	43,697	94.9
企業会計	91,806,499	—	91,806,499	97.0
合計	429,413,168	8,497,908	437,911,076	110.7

一般会計のうち主な経費

①平成30年7月豪雨等災害関連経費

公 復興防災公園(仮称)整備事業 **新規**

事業費 1億8,927万円



小田川沿いに災害時の防災拠点や一時避難場所となり、平常時は防災教育の場、住民が川を感じ楽しめる場、真備の魅力を発信できる場等としても活用できる復興防災公園(仮称)を整備します。

公 被災者向け民間賃貸住宅家賃助成事業 **新規**

事業費 1,488万円



自力での住宅再建が困難な被災者が災害公営住宅の代替として民間賃貸住宅に入居した場合に家賃の一部を助成します。

②新型コロナウイルス感染症対策経費

新型コロナウイルス感染症対策基金積立金 **新規**

事業費 500万円



新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止や感染症の影響を受けた地域経済の復興を図るため、本市に寄せられた寄附金を活用して基金を創設します。

生活困窮者自立支援事業 **拡大**

事業費 508万円



離職や休業等により生活が困窮し、住居の確保が困難になる方等に対して、訪問相談等の自立支援を行う生活自立相談支援センターの支援員を1人増員します。

③教育・子育て

公創 民間保育所施設
整備助成事業 **拡大**

事業費 4,523万円
【債務負担行為 3億1,573万円】



民間保育所の施設整備を行う社会福祉法人に対して、整備費の一部を助成します。・国・県の補助基準額が改定されたことに伴う助成額の拡大・増改築1施設、一部改築1施設※増改築1施設の整備後、令和4年4月より定員10人増予定

公創 放課後児童クラブ
実施事業 **拡大**

事業費 5億1,133万円



児童クラブの施設を整備します。また、児童クラブ運営委託料の処遇改善加算を拡充します。(施設整備●クラブ室設置/5クラブ ●余裕教室活用/10クラブ)※整備後、受入児童625人増予定

④文化・産業・都市基盤

倉敷市民会館駐車場改修
・雨水流出軽減事業 **拡大**

事業費 1億850万円



倉敷市民会館駐車場を市営駐車場に改修することで、美観地区中心部への車両進入を抑制し、交通渋滞の緩和を図るとともに、駐車場の舗装に透水性コンクリートを採用することで、雨水流出量を軽減します。

公創 美観地区電線類
地中化事業

事業費 1億4,580万円



倉敷本通り商店街(阿知42号線)などにおいて電線類の地中化を行うための事業費を追加します。

⑤生活環境

交通安全施設整備事業

事業費 2億5,000万円



用水路等への転落防止対策を推進するため、転落防止柵、ガードレール等の整備を追加します。

飼い主のいない猫の不妊
去勢手術費助成事業 **新規**

事業費 128万円



飼い主のいない猫の不妊去勢手術に要する費用の一部を助成します。

●補助限度額/1件につき1万円



市民の皆様からのご意見やご相談を受け付けています。
お気軽にお声かけやお電話・ホームページ・
facebook・LINEなどにて
ご連絡いただければ幸いです。

ホームページQRコード▶

